

## タウンミーティング 3 日目

日 時：平成 28 年 11 月 24 日（木） 午後 7 時 30 分～午後 9 時 10 分  
会 場：泉の広場公民館 2F 会議室

### タウンミーティング 3 日目の質疑応答内容

#### <1 人目>

○久度地区の再開発があったが、今後は開発等により文化や歴史ある古い町並みを変えてほしくない。王寺小学校も歴史があるので、新しい法律ができたからといって、すぐに義務教育学校に移行するのは如何なものか。

#### <町 回答>

○「全体の開発を進めていくにも、歴史文化の保存を兼ね合わせるべきである」という意見と認識した。易々と町並みを変えるのではなく、将来を見通し、都市基盤を見直していく必要があると判断した場合、開発を進めている。

○久度地区の開発に関して、まず久度地区の住民が今後のまちづくりをどのように考えているのか意見聴取を行わなければならない。また景観保存に関して極端に言えば、橿原市の今井地区や奈良市の奈良町地区のような伝統的な建造物群は無いと認識している。

○王寺町全体から見ると、久度地区の空き家が非常に増えている。特に古い木造建築が多いと、地震が起こったときに倒壊や火災の危険性を考慮しなければならない。

○久度地区は王寺駅に近いメリットがあり、このメリットを生かした形のまちづくりが必要であると考え。王寺駅は王寺の住民だけの駅ではなく、西和地区の住民が広域に利用する駅であるため、そういった視線から利便性を図り、今後王寺町が活気を保つために開発は必要なことと考えている。

○片岡王寺はすでに無く跡地に小学校が建っているが、達磨寺や放光寺の寺院は現存し、こうした今あるものをどのように評価し、残していくかということが大事である。達磨寺の方丈は建立後 350 年が経過し老朽化が著しいため、現在保存修復のための活動を行っている。

○良い物や価値のある物は保存。しかし生活している王寺の住民や周辺町の住民にとって経済面、活気面から見直すべきものは、議論をした上で見直していかなければならない。

#### <2 人目>

○義務教育学校に関する法律は今年の 4 月に成立したばかり。王寺町においては学識

経験者等により、(義務教育学校設置検討)懇話会が開催されているようだが、懇話会の内容を公開してもらいたい。

○今回の説明資料では(小中一貫教育が行われている)一部の学校のデータをもって良いとされているが、(義務教育学校設立に向けて)急いでいる感が否めない。早く決めすぎず、もっともっと議論を重ねて欲しい。

#### <町 回答>

○義務教育学校に関して法制しスタートしたのは今年の4月であるが、小中一貫教育に関しては特例校として、これまでも数多くの学校で実践されている。しかし先程の説明でも有ったように、分離型の形態で行うと教員の多忙感や負担感、研修時間が思うように取れない等の課題が数多く挙げられている。

○今回法整備された理由として、学校現場からの要望により、義務教育学校という校種を創設することによって様々な課題を解決しようというものである。

○小学校ではクラス担任制として児童主体に授業が進められるのに対し、中学校に入学するやいなや教科担任制に替わり一方的に授業が進んでいく。そういったことで授業についていけない生徒が出てしまう。

○6・3制が導入された昭和20年代当初と比べ、現在は子どもの発達が2歳程度早まっている。よって成長に合わせ、学習内容を急激に前倒しすることなく、分散させながら、小学校と中学校で教える同じような内容を整理したカリキュラムを組み立てていく。こうしたことで様々なことを教育できる仕組みである。

○小学1年生から中学3年生まで1つの学び舎で生活することによって、下級生は上級生を手本とし、上級生は下級生の面倒を見るといった相乗効果が生まれる。

○文科省で定めている通学距離の基準は、小学校は片道4km、中学校は6kmである。王寺町は南北に3km、東西に4kmといったコンパクトな町であるため、基準の範囲である。

○また少子化により奈良県南部の地域では、10校の学校を1校に統合する話が進められている。文科省の基準では「通学に1時間以上かかる場合はスクールバスを運行する」とされており、大きな面積を持った市町村は、これに対応していかなければならない。しかし王寺町の場合は、この必要性も生じない。

○小学校入学当初、藤井地区の児童は歩くのも頼りなさに通学しているが、夏休みを経て2学期からはたくましく登校し、保護者からも成長を実感されているとの報告も受けている。

○制度が変わることに対する心配は理解できるが、小中一貫教育に対する様々なメリットが挙げられている。

○現在行っているタウンミーティングの意見やアンケート調査の意見を参考に、今後也十分検討を行い、適時説明を施しながら進めて行きたい。このことから、懇話会ありきで進めているものではないことを理解いただきたい。

### <3 人目>

- 小中一貫校のスタートは何年からか。
- 小中一貫校になった場合、ランニングコスト等の予算面はどうなるのか。
- 資料では「小中一貫校になって成果が認められた」の割合が 88%となっているが、残りの 12%はどういった要因で成果が認められないということなのか。
- これはお願いになるが、小学校と中学校の文化が違うため、一貫校をスタートする 3~4 年位前から、小中教員がカリキュラム等の様々な話し合いができる場を持っていただき、スムーズなスタートを切ってもらいたい。

### <町 回答 1>

- 義務教育学校のスタートは、早ければ平成 32 年度開校と考えている。ただ北と南の 2 つの義務教育学校を同時に整備することは経費面からも難しいので、建築年が 40 年以上の学校が多い北校区から整備する。南校区は分離型の義務教育学校でスタートし、その後できるだけ早期の一体型校舎の設立を目指す。
- 学校新設の場合、建設にかかる国の補助金がある。しかし王寺南小学校は平成元年開校で、比較的新しい学校のため、国の補助金が全額支給されるのは難しいかもしれない。よって北と南、2 校の義務教育学校の設置には、相当の費用がかかる。
- このことより、義務教育学校の設置はランニングコスト削減が目的ではない。むしろ教育内容の充実とハード整備を兼ねた「学びの環境整備」に町として予算をかけるものである。
- 12%の割合で「小中一貫教育の成果が認められていない」ことについては、小中一貫教育の制度は取り入れているものの、施設分離型として運営されているところが殆どである。中には小学校 3 校と中学校 1 校で、小中一貫教育を実践されている例もある。このような例から、実質的に施設分離型で運営していることで、(生徒児童間及び教員間で) 連携が取り難いことが、数値が低い原因ではないかと推察する。
- 「4・3・2 制を取り入れることにより、小中一貫教育の成果が得られた」と評価されているが、急激に制度を改正するのではなく、カリキュラムの見直しを含め、徐々に制度を取り入れていく。そのためには、小学校・中学校の現場教員を取り入れたプロジェクトチームを組織し、先進事例を参考にしながら検討を重ねて行きたい。

### <町 回答 2>

- 小中一貫教育は、単に小学校と中学校をくっつけるだけではない。成果を上げるためには、まず教員が小中一貫教育について研修することが大事。
- 今年の夏季休業中に幼稚園から中学校までの全教員を対象に、県内の富雄第 3 小中学校の前校長を講師に招き、「小中一貫教育への移行について」をテーマに研修会を開催した。その中で、小中学校の教員間でお互いの良い文化を融合するため、相当な時間をかけ話し合わなければならないと指摘があった。
- 教育委員の視察研修では、先進地の箕面市と池田市の 2 校を訪問。今後もこういっ

た検討を行い、プロジェクトチームを組織し検討を行っていく。

○全国的には、今年度 22 校の義務教育学校が開校。来年度以降は 119 校開校を予定されている。このことから王寺町だけが決して、小中一貫教育に突出しているわけではない。

#### <4 人目>

○（義務教育校を実施することで）1,000 人以上のマンモス校となることは、時代に逆行していないのか。学級数も 27 学級が上限とされているが、（1,000 人以上なら）33 学級となる。

○小学生と中学生の授業時間の違いから、小学生が休み時間でドッジボールをしている横で、中学生が体育の授業を受けるといったことにならないか。

○30 学級を超えると、体育館での授業が各学級に週 1 回割り当てることができない。

○保健室で中学生と小学生が混在し、混乱が生じないか。

#### <町 回答>

○現在の中学校を例にすると標準規模は 12～18 学級。18 学級だと 1 学年は 6 クラスである。

○義務教育学校の将来見通しでは、ピーク時で 1 学年 3.7 クラス、その後標準規模の 3 クラスに近づく。校舎面積や体育館面積は、文科省によりクラス数によって基準が定められている。よって義務教育学校であっても、教室や体育館が不足するということは一切無い。

○体育館については、既に小中一貫教育を取り入れている学校の例として、小学課程と中学課程でそれぞれ別々の建物のところがある。

○義務教育学校の施設や設備のレイアウトはこれから行っていく。よって保健室や図書室についても、複数室保有するよう検討を加えていく。

#### <5 人目>

○舟戸 2 丁目自治会に住んでいる。王寺北小学校が良い雰囲気運営されている中、敢えて義務教育学校を設立し、（地元から遠い）王寺中学校の場所に持っていかないでもらいたい。

○リフォーム技術が向上しているのに、長寿命化対策で王寺小学校を存続できないか。

○また校舎が古いからといって、統廃合を前提に進めないでもらいたい。

○王寺小学校、王寺北小学校等の跡地利用はどうなるのか。

－要望事項として回答なし－